

このPPTは、JSSCのHPにもアップされます。

2023年度 土木鋼構造診断士・診断士補 試験実施にあたって

一般社団法人 日本鋼構造協会
土木鋼構造診断士 専門委員会

土木鋼構造診断士・診断士補が必要な背景

我が国は、社会基盤施設（Infrastructure）の膨大なストックを保有しており、橋梁をはじめとした構造物の維持管理の重要性が増してきています。2013年度の道路法改正等を受け、2014年度より道路管理者は全ての橋梁、トンネル、道路附属物等について、5年に1度の点検が義務付けられるようになりました。日常より目視点検を行い、変状の有無や致命的な損傷の有無を確認することが重要となっております。

このような実態において住民や利用者は、安全・安心な生活を確保するために社会基盤施設を常に健全な状態に保つことを強く求めています。

土木鋼構造診断士・診断士補とは？

- 土木鋼構造診断士

土木鋼構造物に関する幅広い知見と経験を有し、様々な劣化・損傷に対し、適切な点検、診断、対策の立案、指導等ができる専門技術者

- 土木鋼構造診断士補

土木鋼構造物の点検、検査等及び診断士の補佐的業務を適切に行うことができる専門技術者

国土交通省『技術者資格登録』

『公共工事に関する調査及び設計等の品質確保に資する技術者資格登録規程(平成26年国土交通省告示第1107号)』に基づく『技術者資格』として登録

土木鋼構造診断士:

橋梁(鋼橋)の点検(品確技資第13号)

橋梁(鋼橋)の診断(品確技資第21号)

橋梁(コンクリート橋)の点検(品確技資第259号)

橋梁(コンクリート橋)の診断(品確技資第262号)

土木鋼構造診断士補:

橋梁(鋼橋)の点検(品確技資第14号)

橋梁(コンクリート橋)の点検(品確技資第260号)

試験会場と実施時間

試験会場

◆ 東京会場:

TKPガーデンシティPREMIUM秋葉原

2階・3階

東京都千代田区外神田1-7-5 フロントプレイス秋葉原

◆ 大阪会場:

天満研修センター

大阪府大阪市北区錦町2-21

土木鋼構造診断士・診断士補試験

試験は、以下のとおり行います。

会場		東京・大阪	
診 断 士	診 断 士 補	試験説明	9時45分～10時00分
		1.択一式試験 (診断士、診断士補とも 同じ問題です)	10時00分～11時45分 (105分)
		2.専門記述式	13時00分～14時45分 (105分)
		3.業務経験 論文記述式	15時15分～17時00分 (105分)

各試験の出題内容

試験問題の概要

- 試験問題は、本講習会及びテキストを基本に出題します。なお、必要な基礎知識の保有度を評定するため、テキスト外からも出題します。
- 参考図書：
 - (1)「土木鋼構造物の点検・診断・対策技術」
(2017年度改訂) 第1章～第15章全てから出題
 - (2) 鋼材、鋼構造関係等の文献、資料等

1. 択一式問題の試験内容(105分)

- ◆ 四者択一式で50問出題(全問解答)
解答用紙はマークシート方式です。

- ◆ 出題内容:

土木鋼構造の材料、力学、構造、製作・施工、維持管理、寿命、点検、診断、対策(補修、補強、長寿命化等)、更新、マネジメント、各種の土木鋼構造物等に関する種々な技術的な知識について出題します。

2. 専門記述式問題の試験内容及び評定(105分)

2-1. 専門記述: 問題A(文章題)

土木鋼構造診断士として必要な学術的、専門的知識の基礎的な分野、点検及び健全度、対策等の分野から出題し、記述された内容について評定します。

- 問題A(文章題)は、3題出題します。
- このうち、**1題**を選択し、解答してください。
- 記述には、**800～1,000字**の文字数が必要です。

2-2. 専門記述：問題B（語句説明）

問題B（語句説明）は、専門記述Aと同様の分野から出題し、記述したそれぞれについて評価します。

- 問題B（語句説明）は、5題出題します。
- このうち、**2題** を選択し、解答してください。
- 記述には、**1題当たり400～500字**の文字数が必要です。

2-3. 専門記述式問題の注意事項

- ◆ 図表を用いて説明する場合は、大きさ、内容とも適度なものとしてください。
- ※ 字数が下限を下回ったり、上限を超えることの無いよう、注意してください。

3-1.業務経験論文記述式問題の試験内容及び評定(105分)

- ◆ これまでの業務経験に基づき、土木鋼構造診断士として相応しいと思われる異なる2業務について記述した内容から、課題の抽出、課題の整理、課題の解決法等を確認し、論理性、表現力等を評定します。
- ※ 記述には、1,600～2,000字の文字数が必要です。字数が下限を下回ったり、上限を超えることの無いよう注意してください。

3-2.業務経験論文記述式問題の注意事項

- ◆ 既設土木鋼構造物を対象とした、土木鋼構造診断士として相応しい経験の記述が必要です。
- ◆ 本業務経験記述で求めているのは、既設土木鋼構造物に関する貴方自身の経験内容です。
- ◆ 図表を用いて説明する場合は、大きさ、内容とも適度なものとしてください。
- ◆ 既設土木鋼構造物に関する点検、調査、診断、補修補強、維持管理に関するマネジメント等の記述がない場合は減点の対象となります。

3-2.業務経験論文記述式問題の注意事項

※例えば、以下の場合には大幅な減点の対象となります。

鋼部材の劣化・損傷に関する点検、調査、診断の記述がなく、

- ・RC床版の点検，診断，補修補強のみを対象とした記述、
- ・耐震補強の設計のみを対象とした記述、
- ・補修・補強部材の施工のみを対象とした記述、
- ・研究開発のみを対象とした記述 など

試験会場での注意事項

会場入場時間

《 会場入場時間 》

8:45～9:35 まで

※ 入口付近が混雑しないように、上記時間でご協力お願いいたします。

- ◆ 事前に送付しております「受験票」を持参してください。
なお、「受験票」は机上のよく見える位置に置いてください。

注意事項 1

- ◆ 土木鋼構造診断士、診断士補を受験される方は、9時35分までに入室してください。
9時45分から試験の説明をします。
- ◆ 午後の各試験は、説明開始時刻の5分前に必ず自席に着席してください。
- ◆ 試験開始時刻は、午前10時00分です。
- ◆ 止むを得ない事情で試験入室に間に合わない場合でも、入室は午前10時30分までです。

注意事項 2

- ◆ 択一式試験における途中退室は、午前10時45分以降可能となります。
- ◆ 試験の途中退室は、午前11時30分以降はできません。
- ◆ 専門記述式試験及び業務経験論文記述式試験の場合も同様に、試験開始後30分までは入室可能で、退室可能は、開始後45分以降とし、終了前15分以降の退室ができません。

注意事項 3

- ◆ 机の上には、受験票、HBの鉛筆（シャープペンシルは可）、プラスチック消しゴム以外は、出せません。

※定規は記述式論文のみ使用可

- ◆ 会場に持ち込める時計は、「計時機能」だけのものに限りませす。

- ◆ 携帯電話・スマートフォンは、電源を切って鞆にしまってください。

※時計としての使用、トイレへの持込みも禁止

注意事項 4

- ◆ 計算問題は、全て手計算で行います。
- ◆ 計算機関係は、一切使用できません。
- ◆ 試験問題は、試験終了時に持ち帰ることができません。途中で退室する場合は、持ち出すことはできません。
- ◆ 試験時間中の離席は、試験監督員の許可を得なければなりません。

注意事項 5

- ◆ 不正行為があったと認められる場合は、退室していただきます。
- ◆ 試験中の飲食は、原則 禁止とします。
- ◆ 試験会場内は、指定場所を除き禁煙です。
- ◆ マスク着用は、ご自身の判断とさせていただきますが、状況により変わる場合がございますので予めご了承ください。

注意事項 6

試験当日、試験会場への電話はできません。
緊急時は、以下に連絡してください。

●緊急時連絡先：

事務局電話番号

東京会場 080-6782-3902

大阪会場 080-6782-9226

注意事項 7

試験における緊急時対応について

大規模地震、台風、公共交通機関の不通などが見込まれる、あるいは発生したため、試験の実施が危ぶまれる場合には協会ホームページを確認してください。

URL:<http://www.jssc.or.jp/>

資格認定の流れ

資格認定の日程

- ◆ 合格者発表:

2024年2月上旬～中旬に本人あて郵送

- ◆ 診断士・診断士補の登録手続き期間:

2024年2月中旬～3月初旬

- ◆ 診断士・診断士補資格有効期間:

2024年4月1日～2028年3月31日